

狛江市議会議員 (自由民主党・明政クラブ)

しの浩司

市政報告

◆ 経 歴 ◆

昭和40年(1965年)4月6日狛江市生まれ
 狛江第三小学校、狛江第二中学校卒業
 國學院大學久我山高等学校卒業
 國學院大學法学部卒業
 平成27年4月 狛江市議会議員選挙初当選

◆ 現 在 ◆

狛江市議会議員 社会常任委員会委員
 狛江市青少年第二育成委員会委員 副委員長
 狛江第三小学校避難所運営協議会 副本部長
 自由民主党狛江総支部 事務局長

◆ これまでの主な活動 ◆

狛江市立狛江第三小学校PTA会長
 狛江青年会議所 第25代理事長
 狛江市男女共同参画フォーラム実行委員会 委員長
 狛江市保育所父母の会連絡協議会 会長
 狛江すくすくコンサート実行委員会 実行委員長
 狛江市青少年問題協議会小委員会 委員
 狛江市市民福祉推進委員会 委員
 狛江市公立学校運営連絡協議会 委員



平成27年4月の統一地方選挙で当選させていただき、5月よりスタートした市議会議員生活も早一年が過ぎました。

この間、初めてのことばかりで戸惑うことも多くありましたが、皆さまのご協力を得ながら努めてまいりました。

まだまだ、皆さんのご期待に添えられていないことも多々ございますが、引き続きこの狛江が、**のびのび**とした環境で**すくすく**と子どもたちが育ち、誰もが**いきいき**と生活できるよう、皆さまと共に**わくわく**するまちづくりにかかわっていきたくと考えています。

そしてさらに我がまち狛江を、スピーディーに日本一安心安全で明るく豊かなまちにするために全力を尽くしていくことをお約束します。

篠 浩司



熊本地震で被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げ、今なお不安な時を過ごす方々が一刻も早く安心安全な環境を取り戻されることを祈念いたします。

狛江市では『狛江市防災ガイド』発行されており、3月末には市内の女性が作った防災ヒント集『狛江防災』が発行されました。

また東京都から昨年『東京防災』が全戸配布されています。

『東京防災』は他の自治体、企業からも非常に評価の高い仕上がりになっていますので、この機会に改めて読み返して日常の備えに活用、また災害時に役立つものですので、お手元に置くことをお勧めいたします。

※『狛江市防災ガイド』『防災ヒント集-狛江防災』は狛江市ホームページからダウンロードできます。

<http://www.city.komae.tokyo.jp>

※『東京防災』は電子書籍として無料配布されています。

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/1002147/1002317/1002546.html>



子育て環境の充実について

狛江市では人口増加傾向にあることに加え、様々な社会環境の変化から保育需要も高まり、平成28年度から31年度の4年間の施設整備計画により、保育園の待機児童解消に向けた取り組みがされています。

この計画により28年度に152名の保育定員拡大が既に実現され、29年度の計画については27年度第4回定例会一般質問において計画の前倒しの要望をいたしました。

28年度第1回定例会一般質問では計画の前倒しがあり、29年度に向けて28年度中に施設整備がされ、240名程度の保育定員拡大がされることを確認しました。

認可外保育利用者に対しては補助金の増額や、該当者を東京都外の施設利用者まで対象にするなど、支援が拡充されました。

また夏休みなどの学童保育開所時間の繰り上げや、狛江市立学校PTA連合会の要望である地域センター図書室の午前中開室についても、長期休業期間中の開室について前向きに進めていただける回答を得ています。

引き続き子育て環境の充実に取り組んでまいります。



自助の大切さと避難所運営協議会について

狛江市では42年前に多摩川決壊という自然災害に見舞われ、当時は避難所での生活を余儀なくされる方が多数いらっしゃいました。現在では多摩川も整備され42年前と同じ災害は起こらないと信じたいところですが、近年ではゲリラ豪雨、集中豪雨などによる災害も多発し避難勧告が出されるケースも多くあります。

また阪神淡路大震災・新潟県中越地震・東日本大震災、さらには熊本地震が起こる中、ここ東京でも首都直下型の地震がいつ起きても不思議ではないともいわれています。

狛江市には13の避難所が設置されていますが、収容可能人数は7,300人程度(長期)、また備蓄食料は避難生活者数8,200人に対し1日3食として3日分の備蓄がされています。

このように万が一の際に避難所に収容される人数は限られますし、食料に至っては約74,000食、1人に1食分配布したとしても市民全員には行きわたりません。さらに時間帯によって、帰宅困難者を受け入れるということになった場合はなおさらです。

このことからまずは自分の身は自分で守る(自助)、そのために身の安全の備えとして家具類の転倒・落下・移動防止対策、消火器や火災報知機の設置、また持ち出し用非常用品の準備、食料・水は最低3日分は用意をお願いします。

その際、狛江市発行『狛江市防災ガイド』『防災ヒント集-狛江防災』や、東京都発行『東京防災』の活用をおすすめします。

また市内に設置されている13の避難所の内、12の避難所には地域住民が中心となり、避難所の速やかな開設、運営を目的とした『避難所運営協議会』が設置され、その目的達成のために会議を重ね、防災訓練を開催しています。

ぜひ『避難所運営協議会』にご理解をいただき、ご自宅に一番近い避難所の確認と自助をしっかりと、有事の際には本人、ご家族の安全確保をした後には、避難する立場ではなく、避難された方をサポートする側としてのご協力をお願いいたします。



市政に関するご意見・ご要望がありましたらぜひお聞かせください。

(しの浩司後援会事務所) 〒201-0014 東京都狛江市東和泉2-18-1
TEL.03-3480-7765 FAX.03-4496-4803 E-mail ko-g@tokyo.zaq.jp